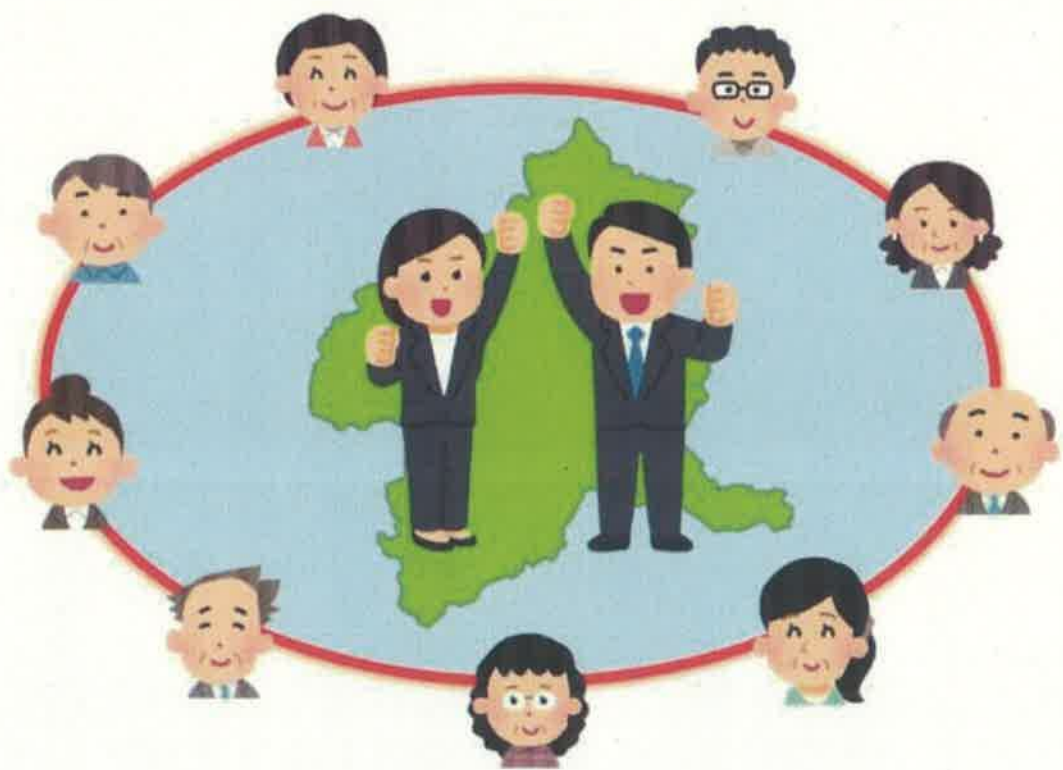


令和6年度 群馬県子ども・若者支援協議会
県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会



令和6年7月25日(木) 13:00~16:40

グンエイホールPAL (笠懸野文化ホール)

令和6年度 「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」 次第

令和6年7月25日(木) 午後1時～
グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)

1 開会

2 あいさつ 群馬県 生活子ども部 私学・青少年課長 太田 真美

3 研修テーマ

思春期・青年期における発達特性のある子ども・若者の「進学」「就労」に関する支援

この時期は、自分らしい社会的自立の実現に向けて、自分に合った学習環境を選んだり、長く勤められる職場環境や雇用環境を求めたりするための大事な進路選択を迫られます。また、人との関わりを通して自分のことを理解(説明)できたり、対人関係や異性との関わり方を学んだりする大切な成育期でもあります。一方、本人が「何にもうまくいかない」「仕事が合わない、辛い」「他者と関われない、関わりたくない」等と苦しんだり、御家族が「進学先をどうやって選べばいいかわからない」「学校を辞めたい、辞めさせたくない」等といった悩みを抱えたりすることもあります。時には二次的な問題(不登校、ひきこもり、非行、うつ、強迫症状等の精神症状など)発生につながることもあります。こうした発達特性に起因した二次的な問題の発生を防ぎながら、学校・職場等で円滑な社会生活を送っていただくために必要な支援を受けていくことは、本人の自分らしい社会的自立の実現に不可欠なことです。

本研修会では、我が子の進路に不安・心配を抱えている親御さんの声を受けて、それぞれの現場における具体的な支援情報を提供するとともに、本人の自分らしい「社会的自立の実現」に向けた支援のあり方について登壇者が意見交換を行います。

4 スケジュール

時間	内容
13:10～14:40 (90分間)	【情報提供】 ①群馬県発達障害者支援センター 次長 桑原 友美氏 発達特性の不安を和らげるための専門的な支援～自己認知と目標ステップの支援～ ②群馬県私立通信制高校連絡協議会事務局長(わせがく高等学校教頭)丸山 昌利氏 発達特性のある若者の「学びの支援」～広域通信制高校の特徴を生かした学習支援～ ③ぐんま若者サポートステーション 総括コーディネーター 唐澤 文彦氏 発達特性のある若者の「就労の支援」～働くことに不安を抱えている若者への支援～
15:00～16:40 (100分間)	【意見交換】 テーマ「発達特性のある子ども・若者の社会的自立に向けた支援のあり方を考える」 ①意見発表 群馬親子サポートだるまの会～発達障害児者親の会～代表 原真理子氏 親たちの声「我が子の高校進学・就職活動に対する不安・心配」 ②意見交換 ■ コーディネーター：共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原篤彦氏 (臨床発達心理士・公認心理士 共愛学園子ども園 教育相談・発達支援アドバイザー) ■ 助言者：みどりクリニック院長 鈴木基司氏 ■ 登壇者：群馬県発達障害者支援センター 次長 桑原 友美氏 群馬県私立通信制高校連絡協議会事務局長 丸山 昌利氏 ぐんま若者サポートステーション 唐澤 文彦氏

5 閉会(16:40 予定) 事務連絡(アンケートなど)

情報提供

発達障害者支援センターの支援について

令和6年7月25日

群馬県発達障害者支援センター

桑原 友美

本日のお話し

1 センターの相談概要

2 関係機関との連携

センターの相談概要

群馬県発達障害者支援センター（平成18年開所）

直接相談

本人、家族などから日常生活に関する様々な相談をお受けし、ご本人の生育歴や特徴的なエピソードをお聞きして助言等を行います。



間接支援

支援者等への研修会を開催したり、支援機関等へ助言等を行います。

所属紹介動画があります

（群馬県公式Youtubeチャンネルtsulunos）

Youtubeで「群馬県発達障害者支援センター」とご検索ください。

相談支援・発達支援+就労支援/実支援者数の年齢層推移



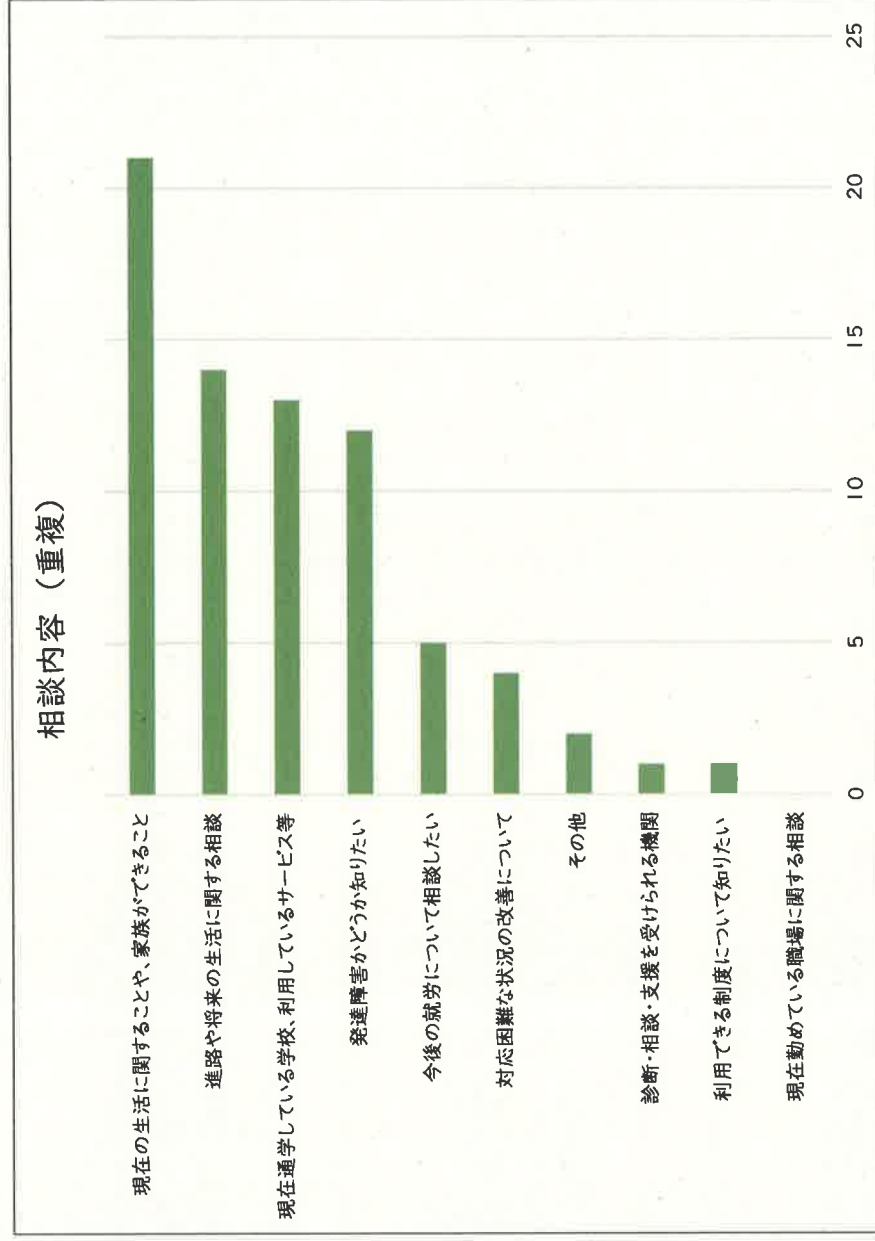
令和5年度 新規相談の状況(16~18歳)

新規相談	30人
男	18人
女	12人
内高校在籍	28人

診断の有無 あり 17人
 なし 13人

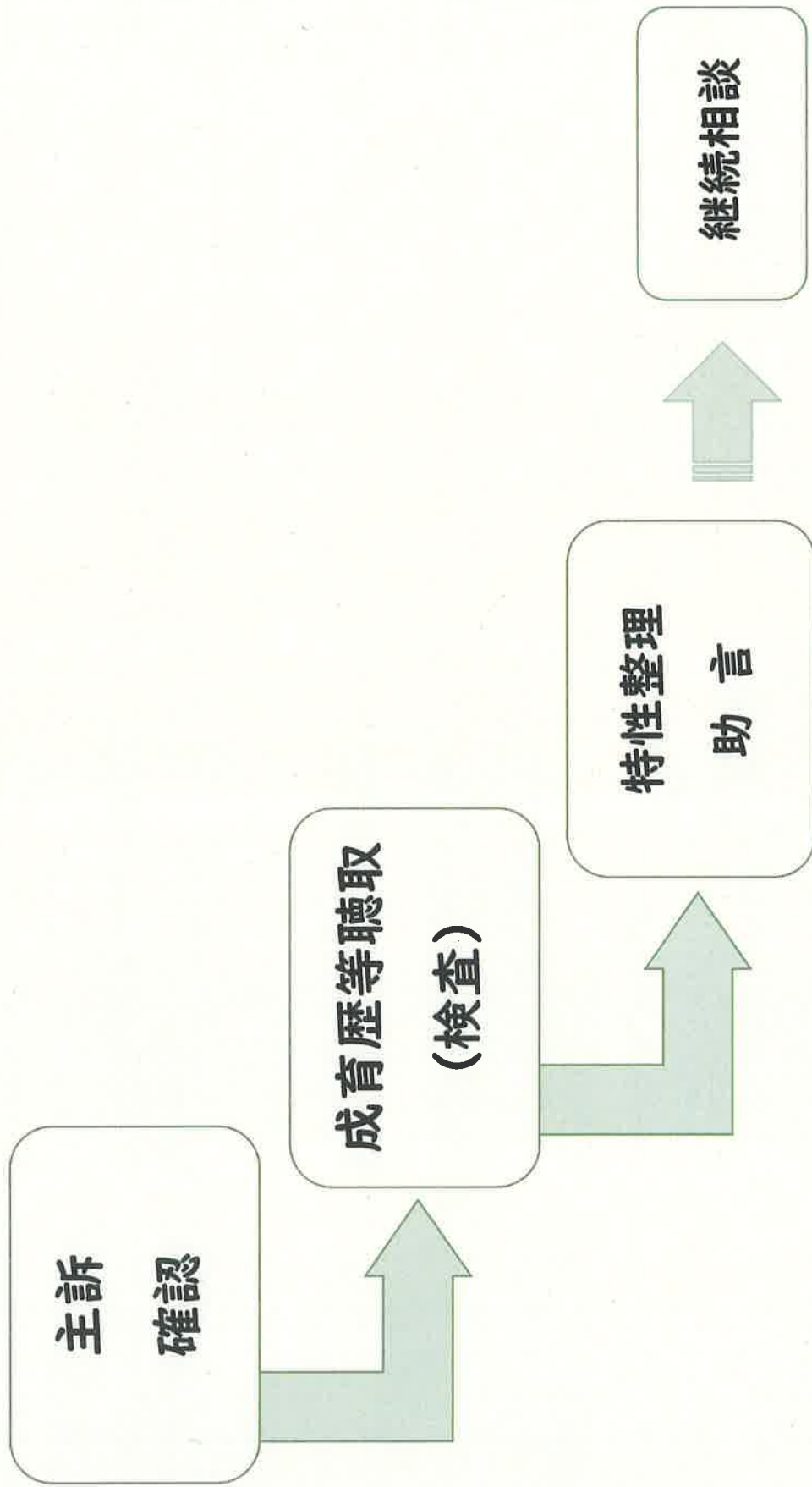
相談依頼者

本人	2人
家族	26人
その他	2人



新規相談のなかれ

本人理解とふさわしい支援のために

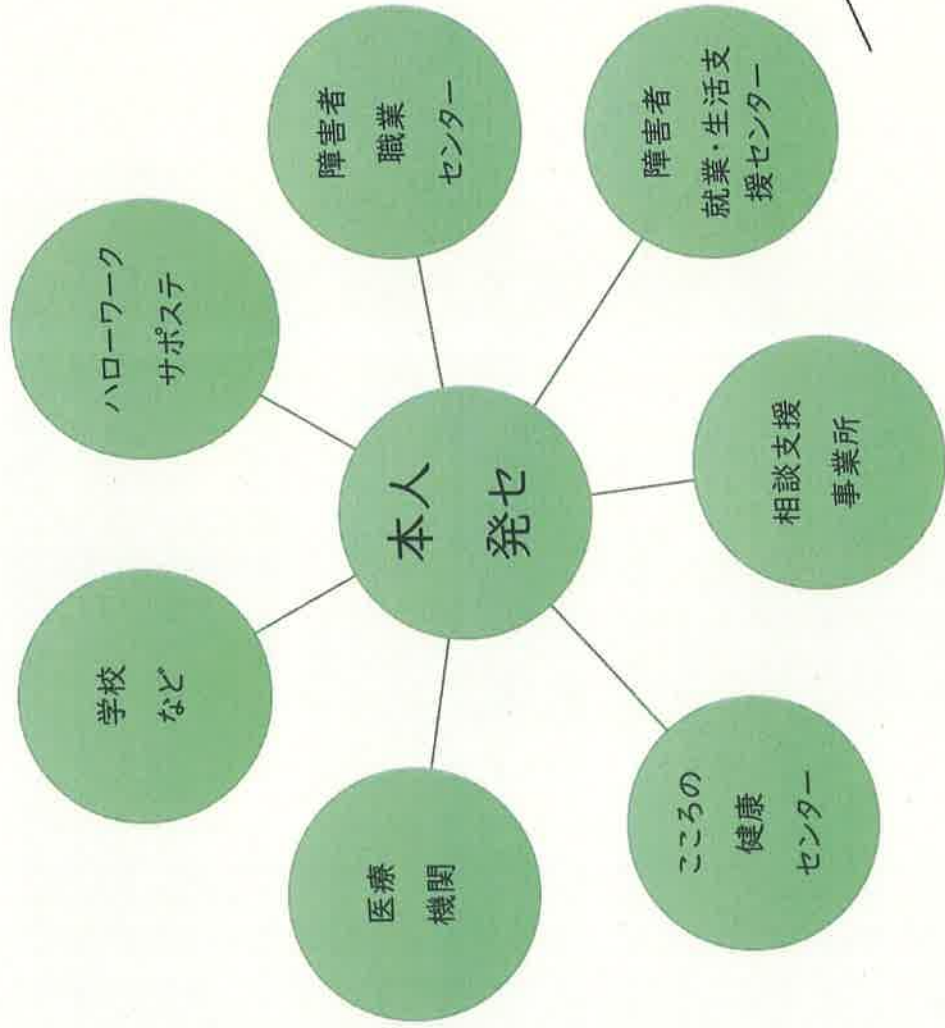


本人への支援

家族への支援

2 関係機関との連携

関係機関との連携



就労に向けて

障害者雇用で働く人を支える

親亡き後のために

発達障害の理解と 支援のための基本ガイド

一人一人が、その特性を理解され、
生き生きと関われる社会の実現を目指して



群馬県発達障害者支援センター

最後までお聞きいただき

ありがとうございました。

群馬県 発達障害の理解と支援のための基本ガイド

<https://www.pref.gunma.jp/07/p10700009.html>

群馬県 発達障害に関する医療機関情報

<https://www.pref.gunma.jp/contents/100103763.pdf>

群馬県子ども若者支援協議会
令和6年度「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」

発達特性のある若者の支援 ～広域通信制高校の特徴を生かした学習支援～

群馬県私立通信制高校等連絡協議会事務局
わせがく高等学校 教頭 丸山 昌利



プロフィール



教頭 公認心理師



丸山 昌利

- 1979年 伊勢崎市生まれ
- 2002年 伊勢崎市立伊勢崎高校 講師
- 2004年 わせがく高等学校 多古本校（本校5年間）
2005年 硬式野球部創部（千葉県高野連加盟）
- 2021年 太田市に太田キャンパス開設
- 2017年 前橋市に前橋キャンパス開設
- 2022年 桐生市に桐生キャンパス開設

学外の活動

- 群馬県私立通信制高校等連絡協議会 事務局
- 群馬県子ども若者支援ネットワーク 副代表
- 伊勢崎市部活動指導員（野球部）



2009年 角川出版
わせがく高校硬式野球部
ドキュメンタリー本「最弱ナイン」出版

群馬県私立通信制高校等連絡協議会



群馬県内に面接指導施設・学習等支援施設をもつ通信制高校等や関係機関団体等と相互に連携を図り、多様な学び方について現状の仕組みを正しく伝えるとともに希望と勇気を与える教育を継続して行い、本県教育振興の発展に寄与することを目的とする。

加盟校

クラーク国際記念高校 前橋キャンパス
 第一学院高校 高崎キャンパス
 おおぞら高校 高崎キャンパス
 NHK学園高校 前橋校
 わせがく高校 太田・前橋・桐生キャンパス

計 約1400名の在籍生

2019年 協議会発足

群馬県私立通信制高校等連絡協議会

イベント・フォーラム

会報発行

訪問説明会

加盟校一覧

事務局所在地

今日の少子時代の代わりにも、通信制高校で学ぶ生徒は全国で21万人を越え、いわゆる通信制高校に求められるニーズは、かつての義務教育少年の教育から、「個人にあわせた多様な学び」や「教育の機会均等」を求めて学ぶということにシフトしています。

群馬県内では、私立通信制高校・サポート校で学ぶ2022年度新入生は、525名以上が入学をしています。

(群馬県生涯学習課・青少年課より)

その一方で、私立通信制高校・サポート校での学び方や、サポート体制についての情報が正しく伝わっていない状況があります。また、非営利性団体に於ける事業性団体の法人格や、専任講師の確保等により、私立通信制高校・サポート校への新入生・転入生をする一方、学びの機会があるにもかかわらず一歩を踏み出せていない学習も存在しているのも現実です。

そんな両者に対し、私たちは、多様な学び方について現状の仕組みを正しく伝えるとともに希望と勇気を与える教育を継続して行い、本県教育振興の発展に寄与することを目的として、群馬県私立通信制高校等連絡協議会を設立しました。



群馬県私立通信制高校等連絡協議会
 〒370-0001 群馬県宇都宮市下草野
 群馬県で田中実業株式会社

社団法人

TEL: 0276-507-2013

FAX: 0276-507-2010



gqk@gqk.or.jp

通信制高校の学習システム



- 高等学校通信制課程は、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして戦後に制度化され、教室授業を中心とする全日制課程・定時制課程とは異なり、通信手段を主体とし、生徒が自宅等で個別に自学自習することとして、添削指導・面接指導・試験の方法により教育を實施している。また、これらに加えて多様なメディアを利用した授業を行うことができる。
- 近年では、学習時間や時期、方法を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの特長を生かして、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すコールドも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供している。

通信教育の方法



多様なメディアを利用した指導

ラジオ・テレビ放送やインターネット等を利用して学習し、報告課題の作成等を通じて指導を實施

教育課程の特例

(※ 高等学校学習指導要領第1章第2款5)

- ・ 各教科・科目の基礎知識の習得、面接指導の単位時間や標準は、全日制課程・定時制課程とは異なり、下表のとおり定められている。
- ・ 多様なメディアを利用して行う学習を計画的かつ継続的に取り入れて指導を行った場合には、面接指導等の時間数の方を10分単位で削減減額を免除することができる(生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合は、削減のメディアを利用することにより、合わせて10分の8以内の時間数を免除することができる)。

各教科・科目等	添削指導(回)	面接指導(単位時間)
国語、地理歴史、公民及び外国に属する科目	3	1
理科に属する科目	3	4
保健体育に属する科目のうち「体育」	1	5
保健体育に属する科目のうち「保健」	3	1
芸術及び外国語に属する科目	3	4
家庭及び情報に属する科目並びに専門教科・科目	各教科・科目の必要に応じて2~3	各教科・科目の必要に応じて2~8

○ 各教科・科目の基礎知識の習得、面接指導の単位時間や標準は、全日制課程・定時制課程とは異なり、下表のとおり定められている。

○ 多様なメディアを利用して行う学習を計画的かつ継続的に取り入れて指導を行った場合には、面接指導等の時間数の方を10分単位で削減減額を免除することができる(生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合は、削減のメディアを利用することにより、合わせて10分の8以内の時間数を免除することができる)。

- ・ レポート…独自オンラインシステムを使用している学校が多い。

PCやスマホで提出

- ・ スクーリング…平日スクーリング

休日スクーリング

合宿型スクーリング

集中スクーリング に大別

- ・ 試験 (単位認定試験)

…オンラインシステムを活用

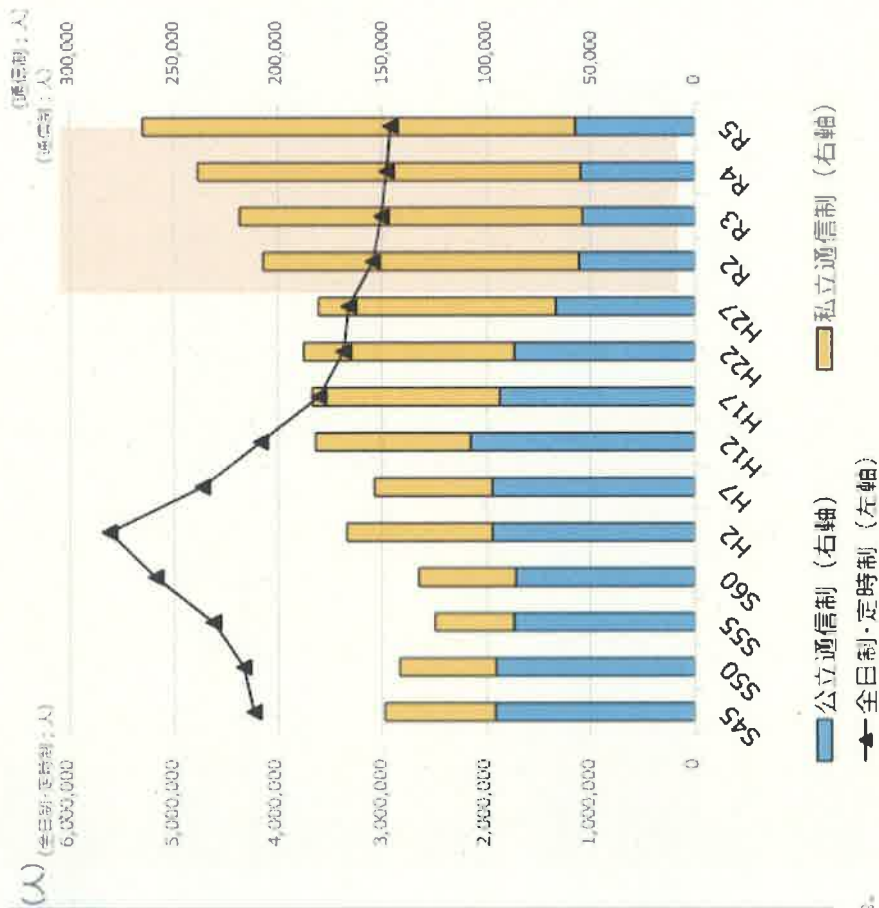
+ アルフア メディアを活用した学び

例 NHK 高校講座など

通信制高校の生徒数



	全日 定時	通信		計
		公立	私立	
S45	4,231,542	95,848	52,900	148,748
S50	4,333,079	95,674	46,125	141,799
S55	4,621,930	87,104	37,766	124,870
S60	5,177,681	86,282	46,362	132,644
H2	5,623,336	97,271	69,715	166,986
H7	4,724,945	97,330	56,653	153,983
H12	4,165,434	107,854	74,023	181,877
H17	3,605,242	93,770	89,748	183,518
H22	3,368,693	86,843	100,695	187,538
H27	3,319,114	66,702	113,691	180,393
R2	3,092,064	55,427	151,521	206,948
R3	3,008,172	53,880	164,509	218,389
R4	2,956,900	54,621	183,646	238,267
R5 (速報)	2,918,486	57,255	207,542	264,797



(※1) 全日制・定時制課程の生徒数には、専攻科・別科に属する生徒数を含む。
 (※2) 通信制課程の生徒数には、他からの併修者の数は含まれていない。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

群馬県内通信制高校サポート校 入学動向



特性がある生徒の入学



例 わせがく高校 群馬3キャンパス

在籍生 726名

診断あり 36名

約 5%

※特徴ありを入れると

約12%

2023年度診断ありの卒業生

大学進学…2名

専門学校…6名

就職…1名

アルバイト2名

就労移行支援…5名

療養…3名



医療機関

みどりクリニック、桐の木クリニック、群馬病院、のぞみの園、青木病院、足利日赤

県市町村機関等

中央・西部・東部児童相談所、こころの健康センター、県発達障害支援センター、熊谷児童相談所、高崎市こども救援センター、各市町村福祉窓口、警察署、出身中学校、不登校親の会、フリースクール、教育支援センター

サポステ、ハローワーク、社会福祉協議会

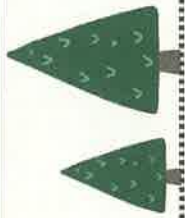
学校側の窓口

担任・SC・キャンパス長など



当日ご紹介します



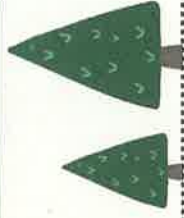


当日ご紹介します





当日ご紹介します



特性を持つ生徒の増加

外国にルーツを持つ生徒の増加

貧困家庭の増加

いじめの増加

小中高生の自殺者の増加

など

ありがとうございました

THANK YOU!

発達特性のある若者の 「就労の支援」

～働くことに不安を抱えている若者への支援～

ぐんま若者サポートステーション 唐澤文彦

令和6年7月25日

厚生労働省委託事業



サポステ

ご利用は
無料
予約制

ぐんま若者 サポートステーション

一步を踏み出したい方の『就職』をサポート 働く準備ができる場所です！

ぐんまサポステ
※お問い合わせ先

◇支援対象者

- ・年齢：15歳～49歳の方
- ・在学中ではなくお仕事をしていない方
- ・ご家族の相談も受け付けております

※殺害あては行ってありません

サポステ
プラス
就職氷河期世代の方のサポートも
行っております。働くことに悩む
40歳代の方、ぜひご利用ください。

前橋市

ぐんま若者
サポートステーション

027-212-3630

<http://gunma-sapo.info/>



太田市

ぐんま若者

サポートステーション
東毛常設サテライト

0276-57-8222

サポート内容

◇個別相談（1回 50分程度）

「求人票の見方や応募の仕方、面接対策」から、「仕事や働くことに悩んで心配なこと・和りたいこと」まで幅広い内容の相談に対応をしています。

具体的な個別相談を通して、一人ひとりに適した支援をおこないます。

就職へのステップをスタッフと一緒に進めていきましょう。

★ Skypeによるオンライン相談も行ってください。



※このように相談しています



「どんな働き方や職種があるかな？」他、スタッフと話し合いながら進んでいきましょう

◇講座

相談と並行して各講座を利用できます。

スタートアップ講座・パソコン基礎・社会人のマナー・作業体験・コミュニケーション講座・模擬面接・ジョブトレーニングなど、さまざまなメニューがあります。

興味のあるものや自分に必要とと思われるものを進んでお申し込みください。

お話を聞けるかをスタッフと話し合ってから決めることもできます。



この講座に参加する方は受けます！

◇職場体験

企業でのお仕事体験です。

実際に働いている人がいる場所、その仕事を見て体験することで「働く」ということを学びます。

企業での一日の流れを体験したり、帰国企業を訪問して感じるという体験にもなります。

※雇用契約は行いません。

※給与や交通費の支給はありません。

★ サポステスタッフが見守りながら行います。



お仕事を体験して、仕事の雰囲気を体験してみよう

ご利用の流れ

まずは、お電話にて来所の予約をお取りください。

初回面談にて、サボスタについての詳しい説明をさせていただきます。

「登録して利用する」と決めたら、利用手続きをします。

サボスタ利用開始！ 個別相談・講座・職場体験などのご利用ができます。

就職活動へ進みます。
応募書類や面接対策もご相談ください。
自分に合った求人を見つけたら、応募！

就職決定！

利用者の声

リラックスしている
期間でよかったので、安心して
就労することができました。(10代女性)

他の利用者との交流など
で視野が広がり、就活に役
立ちました。(30代女性)

働き始めた後も、仕事で大
変な時や嬉しい時があった
時、サボスタに話をしに行
っています。(20代男性)

お問い合わせ・アクセス

ぐんま若者サポートステーション

〒371-0854
群馬県前橋市大塚町1-10-7
群馬県公社総合ビル6F

TEL 027-212-3630

月・火・水・木・金・第2、第4土 10時～18時



ぐんま若者サポートステーション 東毛常設サテライト

〒373-0853
群馬県太田市浜町66-49
太田市浜町労働会館1F

TEL 0276-57-8222

火・水・木・金・第2、第4土 10時～18時



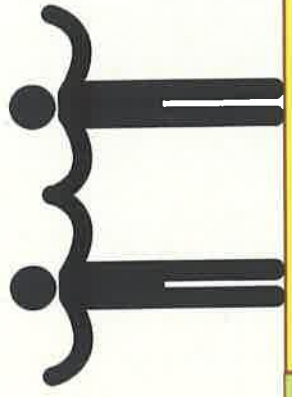
※祝日・年末年始は、お休みとなります。

出張相談会場案内

- | | |
|---|---|
| ◆安中市役所
2F 第1相談室
(安中市安中1丁目 23-13)
第一次曜日
10:00-12:00 | ◆蕨林市郷谷公民館
1F 会議室
(蕨林市当番町 218)
第二次曜日
10:00-16:00 |
| ◆高崎市役所
(高崎市新松町 35-4)
※相談室は予約制にお問い合わせください
第二次曜日
13:00-16:00 | ◆桐生市勤労福祉会館
3F 会議室
(桐生市錦町 3-6-20)
第三次曜日
10:00-16:00 |
| ◆ハローワーク高崎
1F 相談室
(高崎市北双葉町 5-17)
月1回
10:00-16:00 | ◆伊勢崎市役所
東館 2F 相談室 1
(伊勢崎市今泉町 2-410)
第二次曜日
10:00-16:00 |
| ◆ハローワーク前橋
1F 相談ブース
(前橋市天川大島町 130-1)
月1回
10:00-16:00 | ◆ハローワーク伊勢崎
3F 相談室
(伊勢崎市女田町 55-4-10)
月1回
10:00-16:00 |
| ◆蕨岡市役所 本庁舎 1F
市民相談室
(蕨岡市中栗須 327)
第二次曜日
10:00-13:00 | |
| ◆富岡市生涯学習センター
相談室「ならすゆう」
(富岡市七日市 400-1)
第二次曜日
13:00-16:00 | |
| ◆茨川市役所第2庁舎 1F
茨川市消費者生活センター会議室
(茨川市石原 6-1)
第三次曜日
13:00-16:00 | |

ご予約・お問い合わせは
ぐんま若者サポートステーションへ

ご予約・お問い合わせは
ぐんま若者サポートステーション
取手常設サテライトへ



ぐんまサポステの基本姿勢

- ◆ 本人の話しを聴き、状況を共有する。
- ◆ 本人と一緒に考える。
- ◆ 本人の考え・自主性のサポート役。
- ◆ 本人の状況に合わせ、Stepを踏んでいく。
- ◆ 個別支援とグループ活動。
- ◆ 自己肯定感・自己効力感を育む。
- ◆ すぐに“就職活動をする”事ばかりではない。

就職活動をどうやれば
いいのかわからない。

無業の期間が長くて、
採用されるのかな。

生活リズムや体調面に
不安がある。

履歴書・職
書き方を

と言われる。

働きたいけど・・・

面接が
応募で

が多かった。

どの様な職種や働き方
が良いか迷ってる。

働くことが怖い。

一般求人か障害者求人
か迷っている。

就職活動をどうやれば
いいのかわからない。

無業の期間が長くて、
採用されるのかな。

生活リズムや体調面に
不安がある。

履歴書・職務経歴書の
書き方を知りたい。

コミュニケーションや
人間関係に不安がある。

作業が遅いと言われる。

面接が不安で
応募できない。

就職活動が
うまくいかなかった。

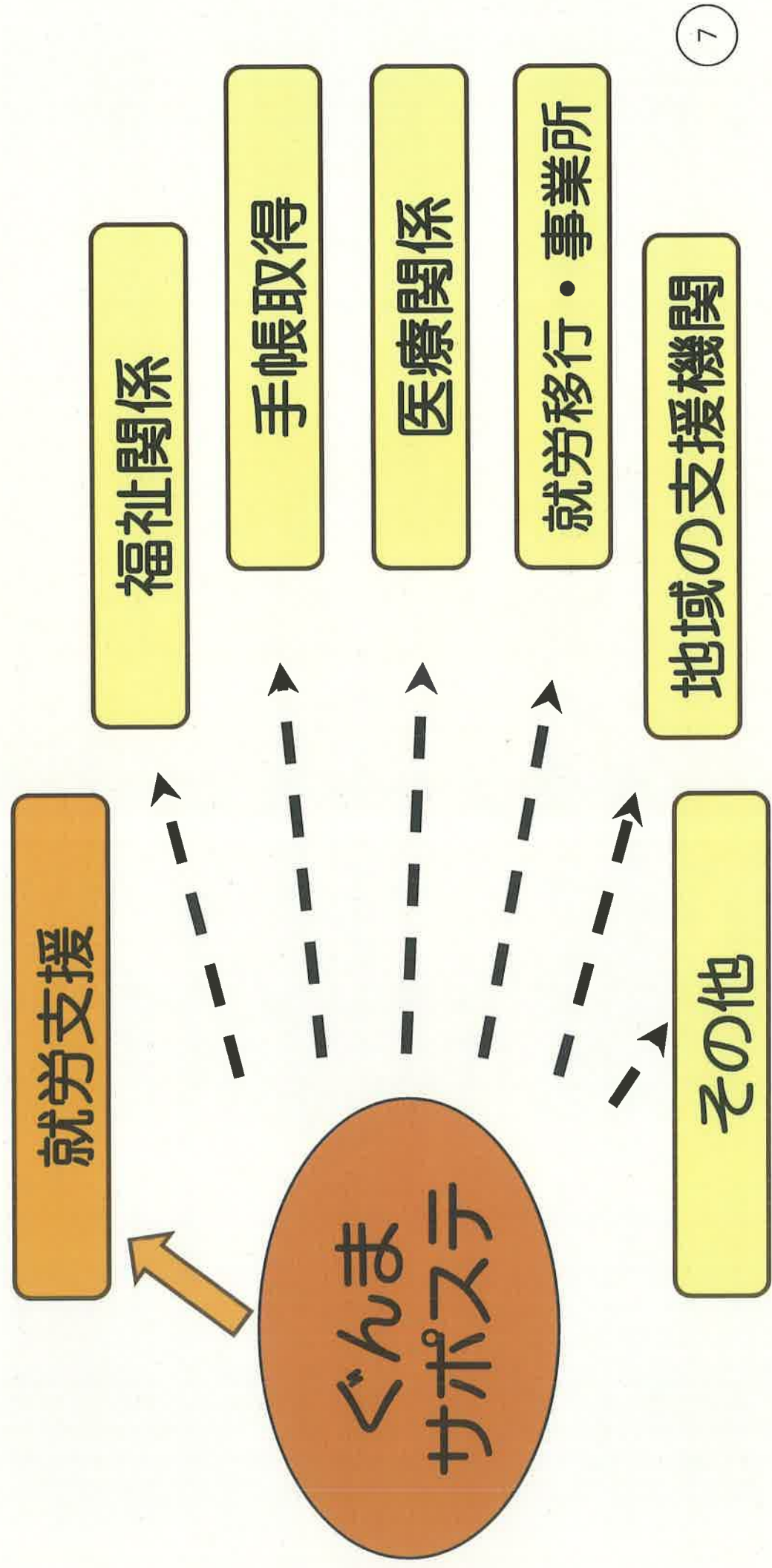
前職でミスが多かった。

どのような職種や働き方
が良いか迷ってる。

働くことが怖い。

一般求人が障害者求人
か迷っている。

適切な関わり方や支援の方向性とは？





ぐんま若者サポートステーション

ご清聴頂き、
ありがとうございました。

意見発表「我が子の高校進学・就職活動に対する不安・心配」

自らの体験を振り返りながら、親たちの声を支援者に伝えたい！

群馬親子サポートだるまの会～発達障害児者親の会～

代表 原 真理子

1 はじめに

- ・だるまの会と私～親の心の内は～
- ・不安なのに相談に結び付かない理由には・・・
(嫌な思い、うまくいかなかった、伝わらなかったという思い等)

2 我が子のことを振り返る

■ 高校進学

- ・進路に悩む中学時代 ⇒ 通信制の高校時代 ⇒卒業後特に何にもつながらず

■ 就職活動

- ・サポステとの出会い ⇒ 相談支援事業所「ほっと」⇒発達障害者支援センター
- ・相談支援事業所 ⇒ 障害者就業・生活支援センター ⇒就労移行支援事業所 APT
(医療につながる ⇒ 精神福祉手帳の取得)
- ・就労移行支援事業所から就職へ ⇒ 今は

3 つながらないことの不安感、つながることの安心感

【親たちの声】

- ・中学卒業後の悩みはそれぞれだが、将来の目標は社会人になること。
就労に向けてどのように進路を選択したらよいか、どう就労に結び付けたらよいか。
- ・悩んだときにそれを教えてくれる人や相談する場所が分かれば。
- ・親や親の会は勉強していて、いろいろな情報を持っているので親同士の交流は必要。
ただ、必要な支援が得られないこと、合わないこともある。
- ・専門的な助言や支援が得られるよう、つながることを願っている。

<進路について>

- ・自分に合った進路選択。発達障害や不安感の強い生徒への支援があるのか。
もっと学校の特色、支援の情報を得やすければ
- ・受験に失敗したら、その時どうするか
- ・入学後の心のケアや発達障害への支援（自立活動を含む）は受けられるのか。
- ・不登校、ひきこもりになったら、中退してしまったら、相談できる所はあるのか。

<就労について>

- ・就労に結び付く支援や相談（キャリア教育、進路指導、自立に向けた支援）は普通、単位制、通信制など各高等学校できめ細かく行われればよいが。進学しない生徒の行く先を見守ってほしい。
- ・中退後の生活や就労に向けた支援につないでもらえれば。
- ・就職に意識が向かない生徒のための居場所があれば。
- ・就労先の選択支援が充実していけば。
- ・就職後の定着の不安に対して、きめ細かい見守りや寄り添いをしてもらえれば。
- ・休職、離職した時の不安について、支えてくれる場所があれば

【もう一言 親たちのつぶやき】

<支援者に向けて>

- ・相談窓口はどこにあるのか、支援者はつなぐ情報をもっているか？
- ・悩みの相談がカウンセリングになっていないか
- ・親が本気で将来について悩んでいることが伝わらない
- ・必要な支援に結び付かない
- ・基幹相談支援センターがまだない地域、まだ機能していない地域がある

<高等学校に向けて>

- ・進路に関して進学も就職もできない生徒がいる、フォローアップはできているのか。
- ・不安感のある生徒、発達障害のある生徒等に対する支援、自立に向けた支援、進路に関する支援、就労移行等、福祉とのつながりなどはあるか
- ・不登校の生徒の中には、オンラインやメタバースにも入れない生徒もいる。訪問支援もあると聞いているが
- ・高等学校における通級指導教室、私立高校、通信制高校などでも通級指導が受けられないか。
- ・放課後デイサービスにおいて高校生に対しての支援が有効に行われれば

<特に通信制高校に向けて>

- ・中学校での進路については、以前に比べ選択肢が増えてきている。その中で通信制に通う生徒が急激に増えている。不登校生徒の増加や、高卒資格を得るならばいろいろな手段があることが周知されてきたことなどもその理由ではないかと考える。
しかし、分からない部分や疑問に思う部分がある。
- ・以前は通信制には簡単に入れて、そんなに苦勞せず卒業できるというイメージだったが、先の法改正で指導者の人員や教育課程に関して見直しをすることになった。
簡単に卒業できないのではないか。

（通信制高校については、R5.2 に文科省から「高等学校通信教育の質の確保・向上の

ためのガイドライン」が出された。施設や教育課程等に関するガイドラインが示され、しっかり履修させてもらえる反面、補習や再試等はあるにしても以前に比べ卒業しにくい状況なのではないか。)

- ・発達障害の子どもたちにとってサポート校は大変ありがたいが、通信制高校とサポート校への二重の授業料が経済的な負担となっている。
また、高校の卒業ができて、そののちの就職に結びつくか心配である。就職に向けてのキャリア教育が通信制でどこまでできるのかが心配である。
- ・通級指導教室で行われているような自立活動など特別支援教育は行われているか。
サポート校ではどんな特色ある学習を設定しているか。
- ・不登校や登校渋りの生徒に対して、訪問やオンライン、メタバース等のケアをおこなっているところもあると聞いている。心理的ケアや自立に向けた支援などは提供されるのか。できないとしたら、医療、福祉等とどのようにつながっているか。

<進路が決まらないでいる若者への支援について>

中卒後に進学にも就職にも結び付かなかった者、高校中退者、高卒者で就職に結び付かなかった者に対する支援について

- ・ぐんま若者サポートステーションでは、就職に向けての相談や具体的な支援がある障害があるが福祉につながっていない者への支援はどうなっているか。
- ・群馬県ホームページに「高校中途退学者向け情報」があるが、この情報は周知されているか。高校中退者支援や私立通信制高校の情報につながらないのか。
- ・まだ就職を意識していない者への支援はどうすればいいか。
- ・高校卒業後、就職の前に業種のマッチングや適性を把握できる場があるといい。その役目を職業能力開発センター、職業訓練校（「群馬県職業能力開発協会」）が担えないか。
- ・障害があれば、群馬障害者職業センターも使えるが、遠方に住む場合に利用しにくい。就労先も前橋付近では難しい。各地のハローワークと連携ができれば。

*親の会に集まる皆さんの「不安」や「心配」の声をお伝えしました。

群馬親子サポートだるまの会～発達障害児者親の会～



令和6年度「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」アンケート

R6.7.25

群馬県 私学・青少年課

今後の企画内容の参考にさせていただきたいのでご協力をお願いします。

※アンケートは「LOGOフォーム」による回答になります。

以下のURLまたはQRコードから、回答フォームにアクセスしてご回答ください。

<https://logoform.jp/form/9cfD/640303>



<注意事項>

迷惑メールフィルターを設定している方は「no-reply@logoform.jp」からのメール受信が可能な設定に変更してください。

<回答期限>

集計の都合上、お忙しい中恐縮ですが、7月31日(水)までにご回答をお願いします。

令和6年度「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」アンケート

R6.7.25

群馬県 私学・青少年課

今後の企画内容の参考にさせていただきたいのでご協力をお願いします。
(該当する項目に○をつけてください。記入事項は裏面にもあります)

1 あなたの所属について伺います。

- 1 市町村 (学校含む) 2 県 (学校含む) 3 民間 (県民含む) 4 国・その他

2 担当する分野(業務)について伺います。(主たるものを1つ選択)

- 1 学校教育 2 福祉 3 保健・医療 4 雇用 5 矯正・更生保護
6 青少年健全育成 7 当事者(保護者含む) 8 その他()

3 本日の研修会について感想を伺います。

研修会の内容について、あなたの満足度は次のどれにあたりますか。

(1) 情報提供について

大いに満足 ← 普通 → 不満
5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

(感想等自由に記入してください。また、日常的な困り感についても教えてください。)

(2) 意見交換について

大いに満足 ← 普通 → 不満
5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

(感想等自由に記入してください。また、今回のテーマは参考になりましたか、日ごろ感じていることについてもご意見を寄せてください。)

4 次回のテーマ「社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の支援（仮題）」
どんな内容を期待するのか意見・要望等がありましたら記入してください。

(意見・要望等)

ご協力ありがとうございました。

